令和５年度（2023年度）モニタリングシート

施設名	上壱分方 学童保育所

視点		評価項目		6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価（コメント）	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価（コメント）	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価（コメント）	所管課期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	職員配置（常勤数、非常勤数、加配数）・放課後児童支援員	出席児童数に見合った職員配置であるか。また、放課後児童支援員は事業計画どおり配置されているか【日報】	B	配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。	B	B		B 登録児童数が3グループであるが出席数は2グループの事が多い。基本4名＋協議加配1名＋障害加配1名で配置している。	B		B 支援単位に見合った配置である	B		B 支援単位に見合った配置である
	定量的	月報（学童保育状況報告書）・日報（育成日誌兼業務記録）を作成しているか		B	適切に作成している。	B	B		B 適切に作成している。	B		B 適切に作成している。	B		B 適切に作成している。
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】	B	適正かつ明確化が図られている。	B	B		B 固有の銀行口座が有り、適切に管理されている。	B		B 固有の銀行口座が有り、適切に管理されている。	B		B 固有の銀行口座が有り、適切に管理されている。
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	延長利用料金の徴収は適正に行われているか【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・領収書綴】	B	適正に徴収されている。	B	B		A エンペイのキャッシュレスサービスを利用し、適切に徴収している。	B		B エンペイのキャッシュレスサービスを利用し、適切に徴収している。	B		B エンペイのキャッシュレスサービスを利用し、適切に徴収している。
	定性的	収支計画が適正であること	給与の支出及び収支計画が適正に執行されているか【給与規程・賃金台帳・事業計画書（収支計画）・事業報告書】	B	適正に執行されている。	B	B		B 適切に管理し、執行されている。	B		B 適切に管理し、執行されている。	B		B 適切に管理し、執行されている。
	定性的	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	児童発達、アレルギー対策等の研修や職員倫理をはじめとする資質向上を図るための人材育成研修が行われているか【研修件名・内容】	B	法人独自の研修として、オンライン形式で学童全般について、発達支援について等、職員全員が受講。計画的に研修を実施している。	B	B		B アレルギーや資質向上のための動画研修を定期的に行っている。	B		B 社内の放課後児童クラブ職員向け基礎研修を行う。	B		B 社内の動画研修を行ったり、臨床心理士による発達障がい研修を行っている。
	定性的	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	保育の継続性を確保するため、年度途中の人事異動を避け、職員を安定・継続的に配置しているか【事業計画書・日報・ヒアリング等】	B	安定かつ継続的な職員配置がなされている。	B	B		B 働きやすい職場環境、雰囲気を作り、常勤職員で非常勤職員の面談を定期的に行っている。	B		B 常勤職員による非常勤職員の面談を定期的に行い、安定した配置環境の継続を図っている。	B		B 常勤職員による非常勤職員の面談を定期的に行い、安定した配置環境の継続を図っている。
	定性的	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	事業者の経営状況が健全な状態であるか【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	B	適正である。	B	B		B 経営状況は健全である。	B		B 経営状況は健全である。	B		B 経営状況は健全である。
	定性的	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	業務の一括委託が行われていないか【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B	適切に処理されている。	B	B		A 行っていない。	B		B 行っていない。	B		B 行っていない。
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	入退所等関係書類が遅滞なく処理されているか		B	適切に処理されている。	B	B		A 即日常勤職員が処理し、学校連絡便、交換便で送付している。	B		B 即日常勤職員が処理し、学校連絡便、交換便で送付している。	B		B 即日常勤職員が処理し、学校連絡便、交換便で送付している。
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開所日数、開所時間は守られていたか【日報、月報・事業報告書】	B	開所日数、開所時間は守られている。	B	B		A 振替休日、学級閉鎖等も適切に開所を行った。	B		B 振替休日、学級閉鎖等も適切に開所を行った。	B		B 振替休日、学級閉鎖等も適切に開所を行った。
	定性的	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか【ファイル基準表（なければそれに準ずるもの）・実地調査】	B	ファイル基準表に則り適切に管理保存がされている。	B	B		B 適宜ファイルに保存している。	B		B 適宜ファイルに保存している。	B		B 適宜ファイルに保存している。
	定性的	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか【事業報告書・実地調査】	B	日常清掃をはじめ各種機器の保守点検が行われている。	B	B		B 指定管理者で出来る軽微な修繕は行っており、日々の清掃、整理整頓を行っている。	B		B 換気扇やトイレの故障等あったが、即日修理対応を行った。雨漏れやドアの緩み等を修繕費で修理予定。	B		B 保育室、事務室の整理を行い、危険個所のチェックを職員で行った。
	定性的	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	備品の管理が適切に行われているか【備品台帳・実地調査】	B	適切に管理されている。	B	B		B 適切に管理されている。	B		B 適切に管理されている。	B		B 適切に管理されている。
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者の満足度3.0【利用者満足度調査】											A	利用者の満足度は3．0以上である。	
	定性的	放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか		B	児童の情報共有や安全対策を双方で協力して行い、放課後子ども教室へは毎日積極的に参加している。	B	B		A 共に弊社運営の為、毎日連携して運営を行えている。毎日学童児童が参加しており、集団遊びも合同で行うなど連携している。	B		A 学童で毎月行っていたお手玉やダンス教室を合同開催にして、一体化に努めた。	B		A 推進員を中心に情報共有、連携を行い、参加時、校庭では連携して子ども達を包括的に見ていく体制作りを行っている。
	定性的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	苦情解決の体制（解決責任者の設置・受付担当者の設置）を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	苦情対応の体制を整え、苦情や相談案件についても記録簿を作成し職員間で共有するなど適切な対応がされている。	B	B		B 苦情や相談に関しては、職員が真摯に対応を行い、共有し解決、対策を行っている。	B		B 特に苦情はなかったが、相談に関しては施設長、常勤職員で真摯に対応を行った。	B		B 苦情や相談に関しては、施設長、常勤職員が真摯に対応を行い、共有し解決、対策を行っている。
	定性的	利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	保護者（会）とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか【おたより、連絡帳】	B	適切に行われている。	B	B		A ハグノートで保護者に配信する他、連絡帳機能を活用し、双方がコミュニケーションが取りやすい工夫を行っている。	B		B ハグノートで保護者に配信する他、連絡帳機能を活用し、双方がコミュニケーションが取りやすい工夫を行っている。	B		B ハグノートで保護者に配信する他、連絡帳機能を活用し、双方がコミュニケーションが取りやすい工夫を行っている。
	定性的	学童保育所と地域の交流を広げる取組がなされているか	学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】	B	学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。地域青少年団体とも連携・協力のもとサツマイモの苗植えを計画した。	B	A	学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて関係機関との連携を図っている。地域青少年団体と連携を行い、芋掘り体験、清掃活動への参加者や、地域ボランティアを招いてのお手玉教室・体験など、地域活力を保育活動に取り入れ拡充を図っている点を評価する。	A 地区の青少対で芋掘りに参加したり、学校のクリーン活動に参加したりして連携をしている。	A	学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて関係機関との連携を図っている。地域青少年団体と連携や地域ボランティアを招いてのお手玉教室・体験など、地域活力を保育活動に取り入れている。	B 八王子お手玉の会の方に毎月来て頂き、お手玉教室を行っている。小学校の体育館を利用しお楽し会を行う。	A	学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて関係機関との連携を図っている。地域青少年団体と連携を行い、芋掘り体験、清掃活動への参加者や、地域ボランティアを招いてのお手玉教室・体験など、年間を通して地域活力を保育活動に取り入れ拡充を図っている点を評価する。	B 芋堀りやお手玉等、地域の方と連携して保育活動のの充実を行った。
施設の効率的な管理・運営が行われ、経費の節減が図られているか	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム（H－EMS：ヒームス）」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等】	B	節電・節水の呼びかけ、紙のリサイクルなど環境に配慮した取り組みがなされている。地域清掃活動に参加している。	B	B		B 登所前の保育室等、未使用部分は消灯を行って節電を行っている。	B		B 登所前の保育室等、未使用部分は消灯を行って節電を行っている。	B		B 登所前の保育室等、未使用部分は消灯を行って節電を行っている。
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的	年間行事が事業計画どおり実施されているか【行事計画書、行事参加者名簿】		B	計画どおり実施されている。	B	A	計画通りに実施したものに加え、北海道苫小牧市との交流事業の実施や、旅行会社が行うオンラインツアーによる長崎水族館、動物園巡り実施など、保育活動の拡大・拡充を図っている点を評価した。	B 行事計画書をもとに、行事を実施している。	B	計画どおり実施されている。	B 概ね計画書通りに実施している。	B		B 行事計画書をもとに、行事を実施している。
	定量的	防災訓練等（地震、火災、不審者、交通ルール等）は事業計画どおり実施されているか		B	地震を想定した避難訓練、交通安全教室など計画的に実施されている。	B	B		B 防災教育、避難訓練、交通安全教室、不審者講習のいずれかを毎月実施している。	B		B 防災教育、避難訓練、交通安全教室、不審者講習を計画書に基づき実施している。	B		B 防災教育、避難訓練、交通安全教室、不審者講習を計画書に基づき実施している。
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	B	個人情報取り扱いにおけるマニュアルを整備し、施錠付きの書庫で保管するなど必要な措置が講じられている。	B	B		B 個人情報のファイルは必ず保管庫に入れ施錠している。個人情報保護研修を行っている。	B		B 個人情報のファイルは必ず保管庫に入れ施錠している。	B		B 個人情報のファイルは必ず保管庫に入れ施錠している。
	定性的	緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【保険証券】										B	保険の加入は適切である。	
	定性的	緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること	事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に行えるよう責任、手順（マニュアル）等を明確にし、体制が整えられているか【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】	B	万が一の事故や災害に備え、適切な対応が出来るようマニュアル類や連絡体制を整えている。	B	B		B 事故が起こった際の対応はマニュアル化し、事故を未然に防ぐ体制や配置、注意喚起を行っている。	B		B 災害時のマニュアル書があり、それに基づき手順を行う確認をしている。	B		B 災害時のマニュアル書に基づき、手順を行う確認をしている。
	定性的	緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること	事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】	B	事故案件や事故事例を基に発生原因の検証や、対応策について職員間で話し合いを行っている。また事故を未然に防ぐため、ミーティング時に職員間で安全対策・再発防止に向けた意識啓発に取り組んでいる。	B	B		B 社内の事故報告、ヒヤリハットを職員に共有し、ミーティング時に検討する機会を設けている。	B		B ミーティング時に社内の事故報告、ヒヤリハットを職員に共有し、検討する機会を設けている。	B		B ミーティング時に社内の事故報告、ヒヤリハットを職員に共有し、検討する機会を設けている。

期末総合評価	B
所管課コメント	市との協定内容どおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されている。 育成日誌等の帳票類も適切に管理されており、会計処理も適切である。マニュアル類も整備され、学童保育所を安定的に運営するよう努めている。 地域青少年団体との連携によって、芋掘り体験、清掃活動への参加や、地域ボランティアのお手玉教室・体験の実施など、地域活力を保育活動に取り入れ保育行事の拡充・拡大に取り組まれている。 今後も保護者、学校、地域団体との良好な関係を築き、設置趣旨に沿った効率的・効果的かつ安定的な学童保育所の運営に期待する。